

理科 3 学年

1. 学習目標および年間計画

- (1) 水溶液の電気的な性質や、酸、アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何かを理解する。
- (2) 観察実験を通して、細胞レベルで見た生物の体のつくりと生殖について学び、親の形質が子に伝わり（染色体の遺伝子による）、生命のバトンが渡され、受け継がれることを認識させる。
- (3) 運動のようすの調べ方を学び、力と運動について基本的な規則性について理解させ、仕事・エネルギーの考え方を理解し、実験観察を通して興味関心を高める。
- (4) 天体の観測を通して、地球の運動について考察するとともに、太陽の特徴や太陽系についての認識を深め、天体及び宇宙への興味関心を高める。
- (5) 自然界における生物相互の関係について学び、食物連鎖により生産者・消費者・分解者のつりあいが保たれていることを理解する。
- (6) 水力、火力、原子力などのエネルギーについて理解し、資源の有効な利用について考えさせ、科学技術と人間生活に対する興味関心を高める。

| 理科 I | | 理科 II | |
|------|------------------------------|-------|-----------------------------|
| 月 | 項目 | 月 | 項目 |
| 4 | 単元 1 化学変化とイオン 1 章 水溶液とイオン | 4 | 単元 2 生命の連続性 1 章 生物の成長と生殖 |
| 5 | 2 章 酸、アルカリとイオン | 5 | 2 章 遺伝の規則性と遺伝子 |
| 6 | 3 章 化学変化と電池 | 6 | 3 章 生物の多様性と進化 |
| 7 | 単元 3 運動とエネルギー | 7 | 単元 4 |
| 9 | 1 章 物体の運動 | 9 | 1 章 地球の運動と天体の動き |
| 10 | 2 章 力のはたらき方 | 10 | 2 章 月と金星の見え方 |
| 11 | 3 章 エネルギーと仕事 | 11 | 3 章 宇宙の広がり |
| 12 | 単元 5 地球と私たちの未来のために | 12 | 単元 5 地球と私たちの未来のために |
| 1 | 3 章 科学技術と人間 | 1 | 1 章 自然のなかの生物 |
| 2 | 終章 持続可能な社会をつくるために | 2 | 2 章 自然環境の調査と保全 |

2. 評価の観点・方法

① 知識および技能

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的な内容について基礎的な知識を身につけて理解を深められているか、および観察・実験の基本操作の習得、観察・実験の方法についての評価項目です。

○小テスト、定期テストおよび器具の扱い方、観察・実験の手順、データの正確さ、レポートの内容、実技テストなどからABCの3段階で評価します。

○レポート、小テスト、定期テストの得点などからABCの3段階で評価します。

② 思考力・判断力・表現力等

☆自然に関する事象や現象について、科学的に筋道をたてて考え、実験の結果を推察したり、結果から規則性や仕組みなどを見いだしまとめる力についての評価項目です。

◎観察・実験のレポートや授業の発言内容、テストの記述内容・正答率、プリントの記入状況などからABCの3段階で評価します。

③ 学びに向かう力、人間性等

☆物理現象や化学変化、生物について、地学的内容について興味・関心を持ち、積極的に調べたり考えようとする態度についての評価項目です。

◎授業中の発言内容や授業への貢献度、集中度、ノートの記録状況(書き方、まとめ方)、観察や実験に取り組む態度、ワーク等の提出物からABCの3段階で評価します。

以上の3観点の評価を総合し、5段階で評定します。

3. 評定の基準

「埼玉県中学校教育課程指導・評価資料」令和3年3月発行の第1章 総則 6-3-2 学年末の観点別学習状況の評価(詳細な記録)を基に、数値化して総括する例 に則り、評定します。4月21日(金)に実施された学年保護者会で説明した通りです。詳しくは、埼玉県のホームページ(<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/sidouhyoukasiryou/r3sidouhyoukasiryou.html>)に掲載されています。

4. 3学年理科の学習のしかた

① 理科の授業は自然現象の観察や実験が中心になります。積極的に実験器具や観察用具に触れ、興味・関心を高めながら授業に参加することが大切です。

② 実験・観察の目的をしっかりとおさえ、どこを見るのか、何のために行なうのか、どのような操作を行なうのかを聞きのがさないようにしてください。

③ 授業中に配布されたプリント類は、なくさないようにノートにきれいに貼り付けましょう。

④ 黒板に書いたことは必ずその時間にノートに記録しましょう。

⑤ 学習の定着を確認するために、適宜小テストを行います。小テストの中で自分の苦手を見つけ、少しずつでも確実に基礎学力を身につけていきましょう。

⑥ 授業の進度に合わせ、ワークを家庭学習として取り組みましょう。答え合わせは、解答とよく照らし合わせて、何が正解で、何が間違いなのかをよく確認することが大切です。